

天爾座月讀壯子幣者將爲今夜乃長者五百夜繼許增

〔書言字考節用集〕人倫長幼

〔倭訓栞〕前編四十五おとな 日本紀に壯をよめり、大人名の義にや、眞名伊勢物語に長をよめり、

おとこびといひ、おとなしといふも也。

〔日本書紀〕神武神日本磐余彥天皇略長而娶日向國吾田邑吾平津媛爲妃

〔日本書紀〕綏靖神淳名川耳天皇略少有雄拔之氣及壯容貌魁偉

〔日本書紀〕齊明十六四年十一月庚寅遣丹比小澤連國襲綾有間皇子於藤白坂中略或本云有間皇子

一日兩夜遊半婁津疾以船師斷淡路國使如牢圍其事易成人諫曰不可也所計既然而无德矣方今皇子年始十九未及成人可至成人而得其德

○按ズルニ、本文ニ據レバ、上古二十歲以上ヲ、成人ト稱シタリシカ、又日本書紀安康天皇ノ條

ニ、天皇自岐嶷至於總角仁惠儉下、及壯篤病容止不便トアルヲ以テ推セバ、上古十七八歲ニ至

リテ總角ヲナス者ノ如シ、

〔源氏物語〕桐壺おさなきほどの御ひとへごゝろにかゝりていとくるしきまでぞおはしける、お

となになり給てのちは、ありしやうにみすのうちにもいれ給はず、

〔新撰字鏡〕侗丁孔反、未成人也、壯也、

〔倭訓栞〕前編四十二わかうと 若人の義也、新撰字鏡に侗をわかき人とよめり、節用集に官者を

わかひものとの訓せり、官は冠に作るを是とす、

〔類聚名義抄〕老旅道反、老イケラシキヲオユ 老 耄 オユ

〔伊呂波字類抄〕老オイタリ

〔書言字考節用集〕人倫老高也、年

〔倭訓栞〕前編四十五おい 老をよめり、中略老てふた、び乳兒と成といふ諺は、漢文帝紀に、七八

艾老艾、幼艾、耆亦作耄 耄亦作耄 八

老人 黃耆釋名、人九十曰黃、或曰黃、或曰凍梨、百年曰期頤、老人

者已上オイタリ、耆者老壽也、